

# 乙女式レニアイ指南

otomeshiki-ren'ai-shinan



クロ缶



あれ？

みんなもう  
屋上に  
行った  
の？

真姫ちゃん  
が  
遅いから  
遅いから

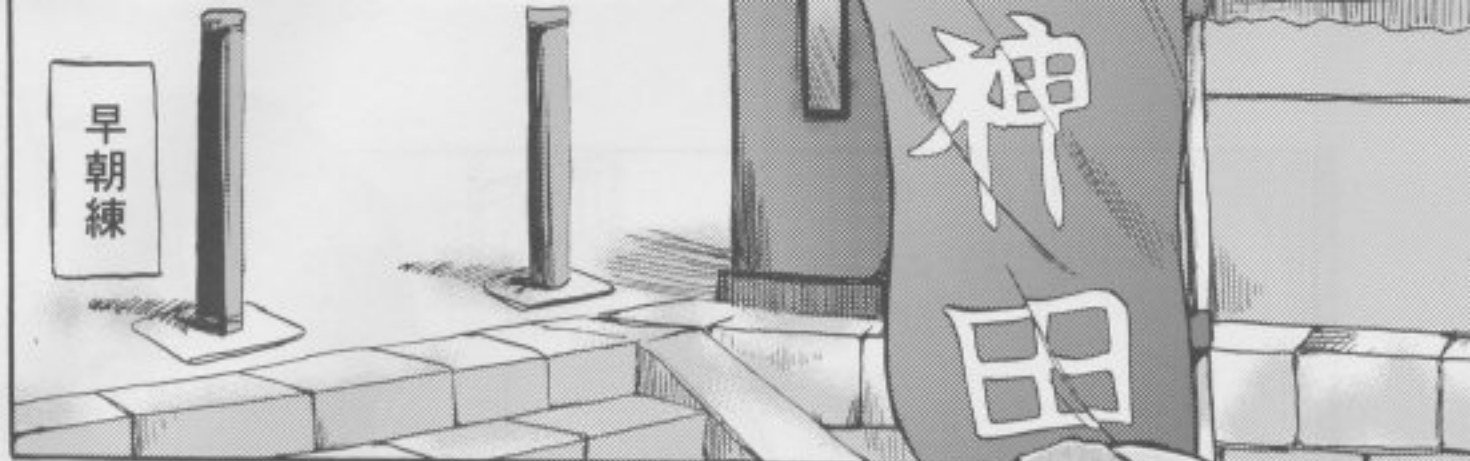
日直のあんたが  
書けないって  
言うから  
手伝って  
あげたんでしょ

女子高生の  
怒り

興味はある？  
で深層心理がワカッちゃう！

何……これ？

女子高生の本音！  
女子高生の本音！  
女子高生の本音！





？

ぬくぬく



にやーっ

あーっほら  
真澄ちゃん  
呼んでるんじ  
ないかなっ

だからアン

なにに？  
何の話？



実際どう  
なのよ？

いきなり  
何言うの  
にちゃんっ

いっ

「あーっ」



え！  
ウチら以外にも  
付き合ってる  
メンバーが!?

おっ 幼馴染って  
いうだけで  
付き合ってるとか  
そういうのじゃ…

ウチらって  
誰よ

やまのり  
のか…

きい

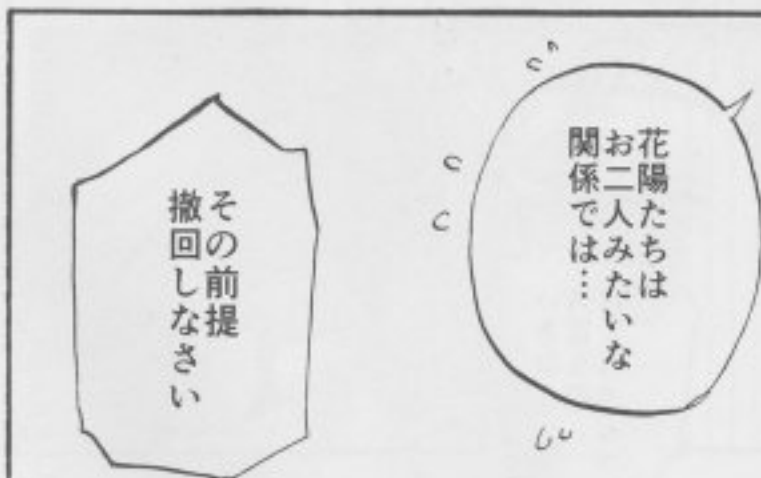


え…にこ達  
付き合ってる  
のー!?

じー  
ソウワタシ!?

ニコ

!?



その前提  
撤回しなさい

花陽たちは  
お二人みたいな  
関係では…

きい

うう…





ウチのスピリチュアルパワーで凛ちゃんのキモチをまるっと説明や〜



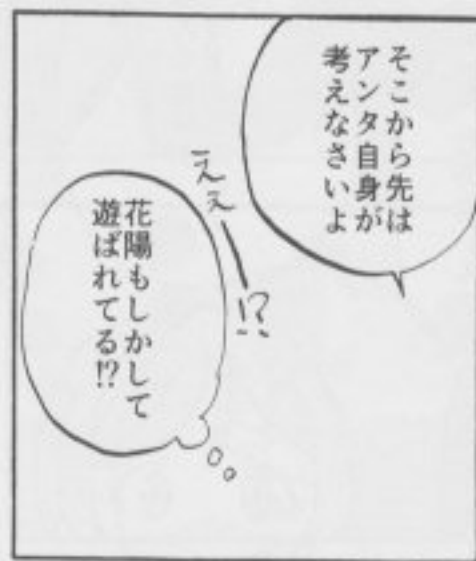
そのおっ怖いって...  
いうか...



ウチとにこっちもくつついてしもたからな〜

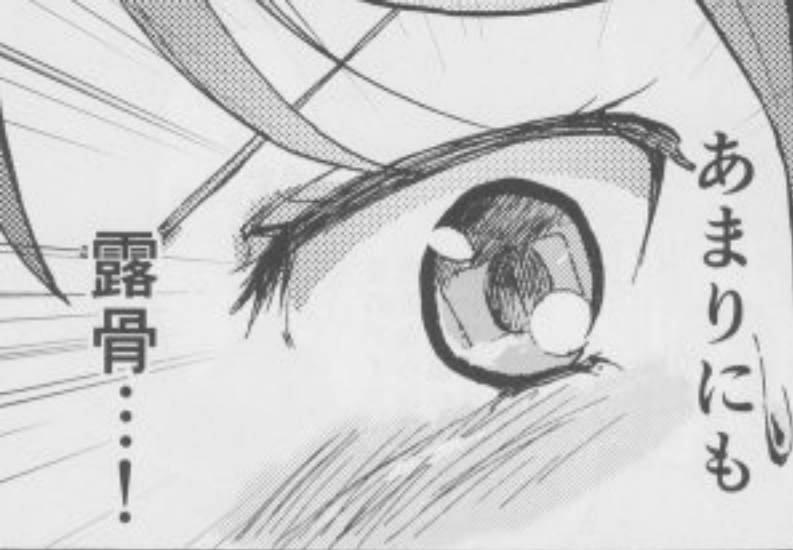
なにそれ  
こわい

ブルッ

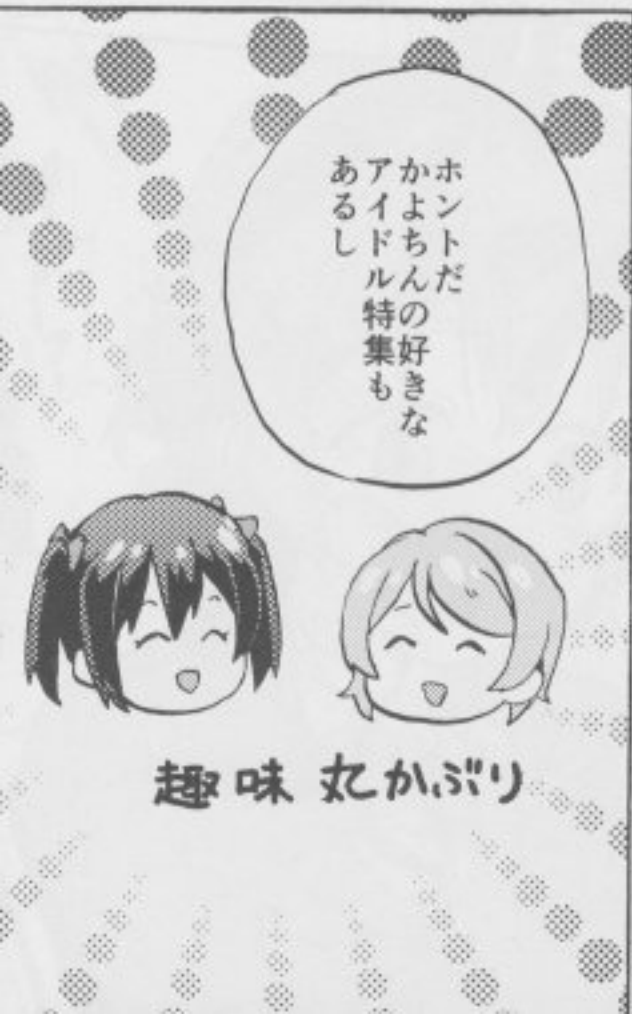








11





ちょっとまって…

そのアイドルが  
好きなら花陽は  
その特集ページを  
開いてるはず…

それも  
そうだにや



花陽の  
興味の対象って  
それだけなの!?

このページには  
アイドルも  
白米も  
載ってないにや

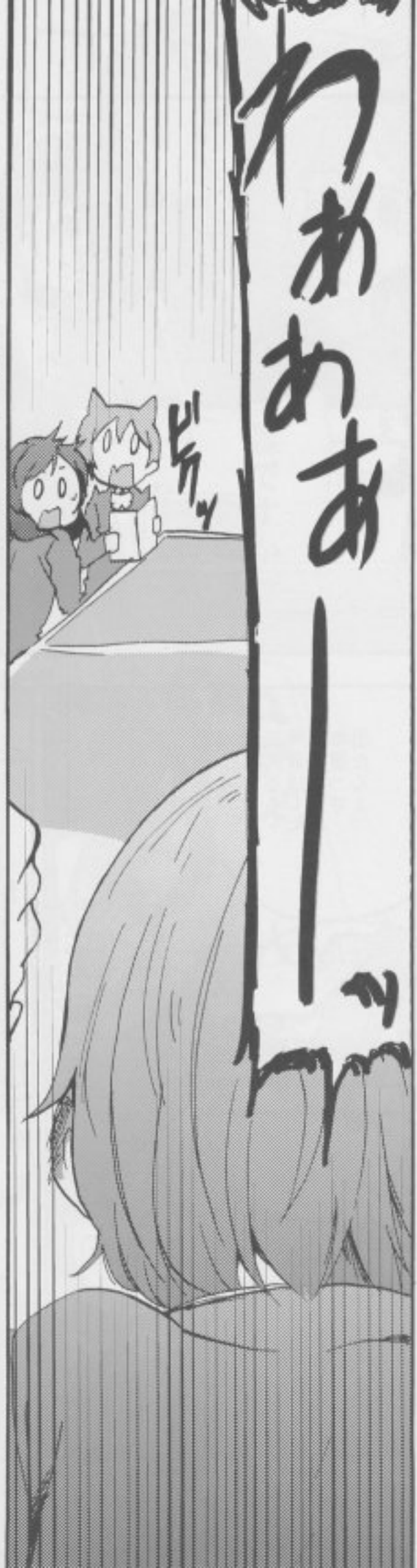


じゃあかよちゃんは  
このページが  
読みたかった  
ってこと?!

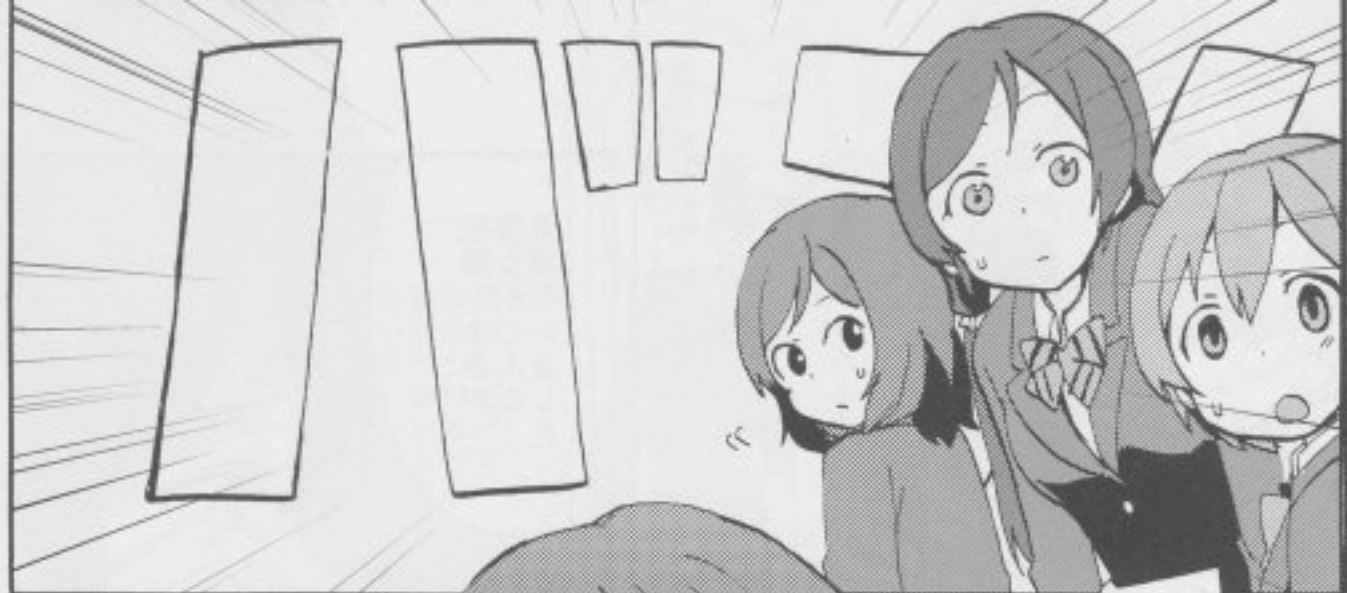
この「女子同士の  
禁断の」

キタわね

グッジョブ  
真姫ちゃん









ちがっ

それは  
にこちゃんんーッ

これは生徒会が  
責任をもって  
処分させて  
いただきます



花陽……まさか  
貴女がこんな  
見損ないました



だっ  
だめえっ



よ、読みませんよ  
こんな恥ずかしい  
内容……ッ



海未

貴女それ  
ちゃんど  
読んだの？



見出しだけでも  
決めつけるのは  
視野が狭いんじゃない？



それはっ  
表紙を見れば  
わかります

どうして読んでも  
いないのに  
恥ずかしいって  
わかるの



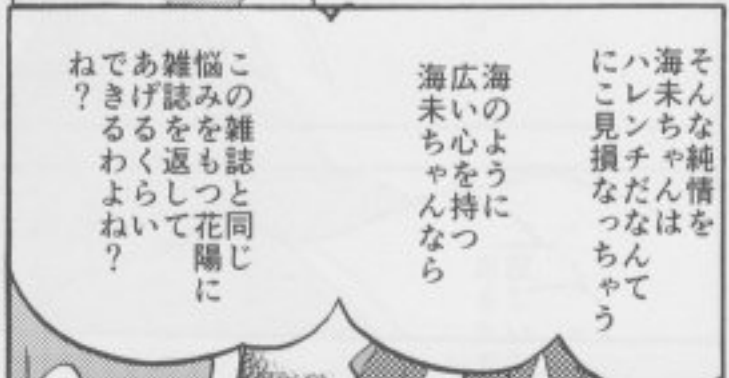
これにはねえ…  
女の子の  
甘酸っぱい…

可憐で儂い  
夢と希望が  
書かれているの



すみません花陽  
私の配慮が  
足りないばかりに…  
悩みがあるなら私も  
相談に乗りますので

どうですか  
いけませんよ  
マハハ…  
どうどうも…



そんな純情を  
海未ちゃんは  
ハレンチだなんて  
にこ見損なっちゃう  
海のように  
広い心を持つ  
海未ちゃんなら  
この雑誌と同じ  
悩みをもつ花陽に  
雑誌を返して  
あげるくらい  
できるわよね？  
ね？



う…ぐ…



よかったわね  
良い先輩に  
恵まれて♡

ははは





はふー

…かよちん

何か悩んでたの？  
凜、なんでも  
相談のるよ？



凜ちゃんは  
花陽のこと——

大丈夫だよ

ありがとう  
凜ちゃん





かよちゃんが  
悩み事を  
抱えてて

真姫ちゃん  
ハイバイバイ



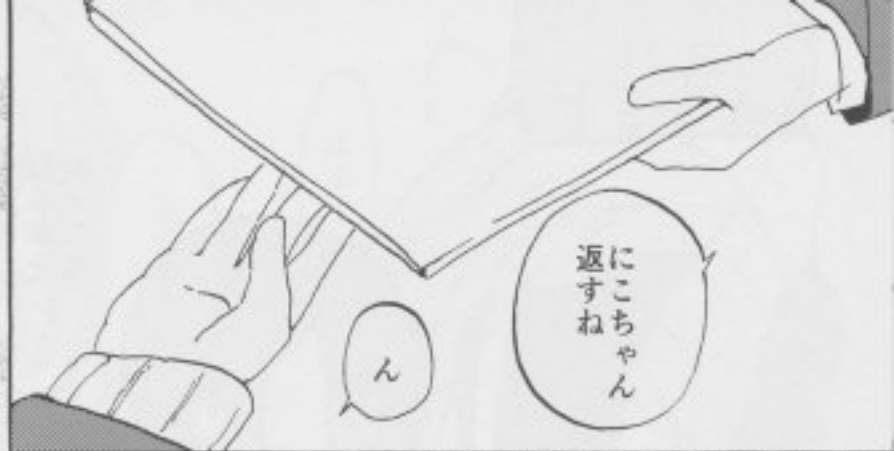
にこちゃんや  
希ちゃんは  
それを知ってて

凜は  
知らない



寂しいのも  
あるけど

なんだか胸が  
チクチクする



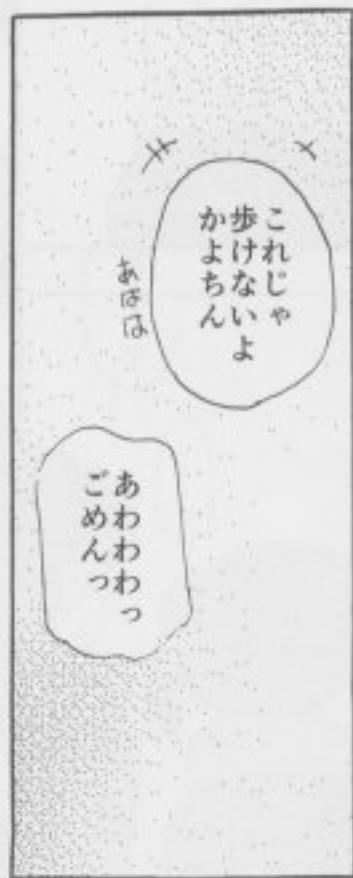


もう答えは



出てるはずなのだ







「あいた、ポカッ」 「やめんかッ」

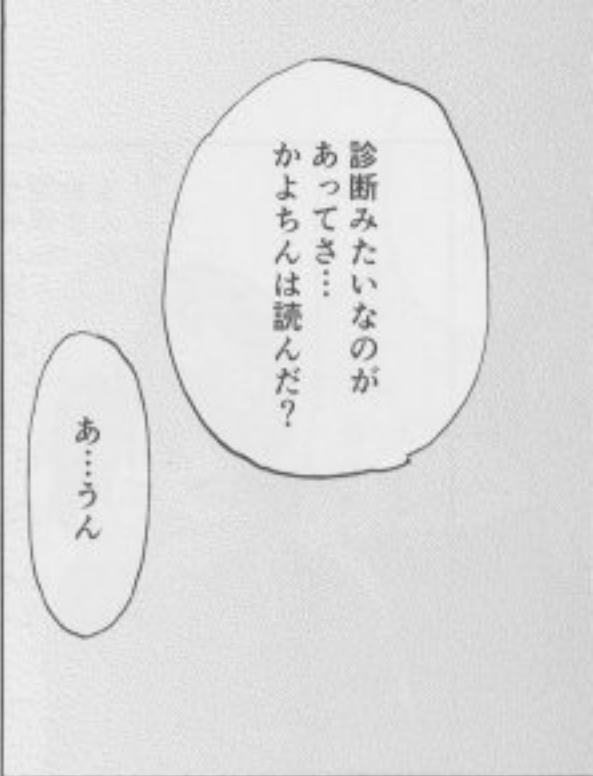




診断って

貴女も女の子が  
好きかも？  
みたいなアレかな

凛ちゃん  
やっちゃん  
…やっちゃん  
…やっちゃん  
…やっちゃん  
…やっちゃん



診断みたいなのが  
あってさ…  
かよちゃんは読んだ？

あ…うん



うれしく  
なったり

毎日  
同じ人のこと  
考えてて

辛くなったり

もやもや  
したり



好きなんだって

っ  
っ

そうやってたら  
それはもう…  
その人のことが

…凛も  
そうだな…って



かよちんの事  
ばっか考えてる



花陽も  
同じだよって

その一言が  
言えたら…

凛のこと  
ずっと考えてて  
くれてたりして…  
なんて

凛、変  
なのかなっ

かよちんのこと  
そういう風に  
見ちゃってるのかな

それで…  
それでねっ

凛ね…

かよちんも  
そうだったら  
いいなーとか

思ったり  
して…

行くよ



ええっ  
今いいところ  
なのに



にこっち  
そろそろ野次馬は  
退散しよか



そっ  
そんなこと  
ないっ  
変じゃないよっ



だって  
だって…



だって……ッ

……  
ありがとう



じゃあ……  
次は  
かよちんの番



凜、悩み事  
相談したよ？  
だから……

凜ちゃん……

花陽……また  
背中押され  
ちゃったなあ……

次は凜が  
かよちんの話  
聞いてあげる番！

花陽も  
凜ちゃんのこと  
ばっかり  
考えちゃってて

でも

ずっとこうして  
手を繋いで  
いたいって

凜ちゃんと  
ずっと

花陽はもう  
答えが出てたよ







洗い物  
出来ない……  
オキテー……  
し……

ス……

食後。

お誘い有難う  
御座いました!

Chiguchi





いい加減  
付き合いなさいよ



二〇二四年十二月二十四日